

## データ作成時の注意

### ■作成サイズについて

○ フォントは原サイズで作成してください。

### ■データ作成について

- ① すべての要素がバーテープ内に収められてください。
- ② 文字はペアフントタイプにしてください。
- ③ 色は CMYK (シアン・マゼンタ・イエロー・ブラック) で作成してください。
- ④ ロゴやシール等、複数枚ある場合は各枚が合わせて1枚になります。
- ⑤ フォントは必ず明朝書体でください。
- ※ 無料チラシを必ずアドバイスください。(チラシとはタイトルの後に続く「ム」の事です)

### ■塗り足しについて

- 既存のデザインは直接修正しないで、「仕上がりサイズより外側の面積までデザインを行ってください。」
- パソコンのモニターはイメージがなじみませんのでご注意ください。
- 印刷機で直接修正を行う場合は、「仕上がりサイズより外側の面積まで塗り足しを行いながら修正ができない場合、自らが出来る可能性があります。」

### ■色について注意

- 色の再現性は、印刷方法・媒体により異なります。
- パソコンのモニターはイメージがなじみませんのでご注意ください。
- 印刷機で直接修正を行う場合は、「背景色が白以外の背景色や画像を使用する場合は、「仕上がりサイズより外側の面積まで塗り足しを行いながら修正ができない場合、自らが出来る可能性があります。」

### ■墨使用について

- ① 「原寸サイズ(解像度 100dpi 以上の画像をご用意ください)」  
※ 原寸解像度 100dpi 以下の画像の入稿に関しては、画像の劣化が発生する可能性があります。
- ② 印刷機で直接修正を行う場合は、「仕上がりサイズより外側の面積まで塗り足しを行ってください。」
- ③ データ（ホワイト）と使用した墨色を同じでオフセット印刷でお願いして下さい。
- ④ 墨色が白以外の背景色や画像を使用する場合は、「仕上がりサイズより外側の面積まで塗り足しを行ってください。」
- ⑤ 黒墨は、CCS でデータを操作して下さい。
- ※ 墨色を必ず確認してください。(墨色とはタイトルの後に続く「ム」の事です)

### ■アウトラインについて

- Illustrator のご入稿の際は、必ずアウトラインの作成をお願いします。
- フォントは全てアウトライン化を強く勧めます。

### ■特殊効果について

- ロゴ・フレーム等  
透かし効果、トロントップリック、ぼかしのご利用は入稿時に設定が変わることがあるため、必ず「原寸解像度 100dpi 以上」で入稿してください。
- フォントは必ず明朝書体でお願いします。

- フォントで二重化された写真での印刷トラブルに当たった際は、必ず「アビアランスの分解」を行ってください。

- ブラシツール  
パグツールによる描いた墨線を利用している場合、パグツーンのサイズや墨線の位置が変化して印刷される危険がございます。

- フォントで二重化された写真での印刷トラブルに当たった際は、必ず「アビアランスの分解」を行ってください。
- ブラシツール  
パグツーンによる描いた墨線を利用している場合、パグツーンのサイズや墨線の位置が変化して印刷される危険がございます。

## 印刷データ作成時の注意事項

※作成前に必ずお読みください!

※店舗名等のロゴをデータで支給いただく場合、下記に合わせてデータをご用意ください。

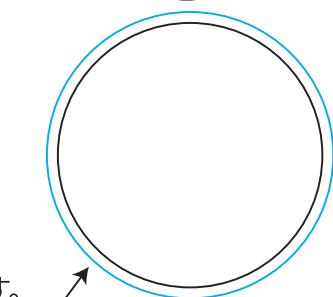
【黒線】仕上がりサイズとなります。

【青線】背景色が白以外の場合、仕上がりサイズより大きく塗り足しを付けてください。

## マジックテープ

### サイズ：1.5M

上部



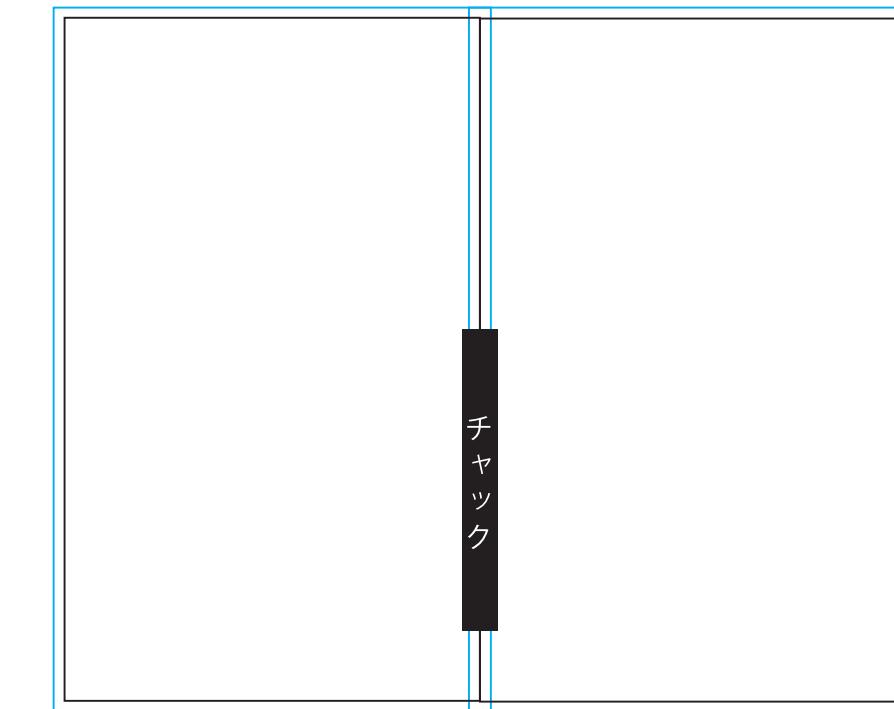
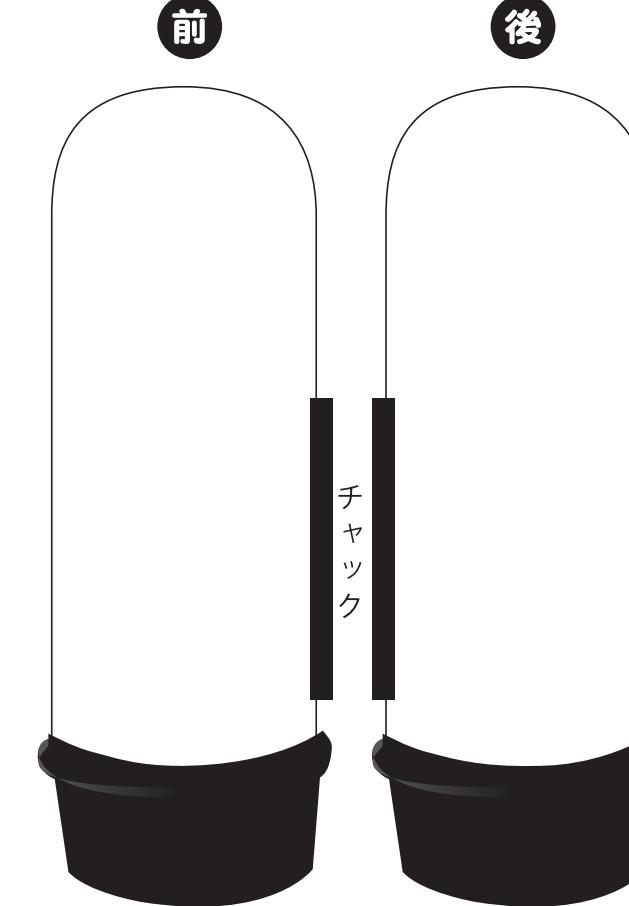
上部は1色、塗りつぶしになります。

前

後

表

裏



つなぎの部分はデザインがずれる可能性がございます。ご了承下さい。